

6月15日(日)日大生物資源科学部での説明・相談会は無事に終了

梅雨時には珍しく晴れ間の見えた日和で、幸いでした。

日大生物資源科学部の博物館2階、立派な第1会議室で、開催しました。

午後1時から説明を始めて約1時間、地球温暖化の現状、「明日のエコでは間に合わない」というキャッチコピー通り、地球が病んでいる様子から、今直ぐ行動を起こすべきだという、国連の「IPCC」のメッセージを伝えました。太陽光発電が温暖化防止になぜ有効か。世界の太陽光発電導入の現状から、今までトップの座を維持してきた日本が、ドイツをはじめヨーロッパの国々に抜かれてしまったこと、日本の温暖化対策の立ち遅れなどを説明。続いて太陽光発電設置の留意点や経済性について。太陽電池の種類。メンテナンスや保証の問題。PV健康診断、PVグリーン等について、パワーポイントを駆使して、丁寧な説明が行われました。



その後は質疑に入り、具体的な問題で質問が次々と出ました。

例えば、・モジュールの値段の問題。・何年で元が取れるか。・メンテナンスの問題。・補助金の問題。
・総合的に推奨できるメーカーはどこか。・保証の問題。・東電の電力メニューについてなどなど。
・集合住宅(マンション)につけたいのだが、共用部分の電力を賄いたいと、あるメーカーから見積をとったら、償却できるのは100何年かかると回答してきた。
終わりの方では、・外国に対して我が国の政策が歯がゆいという話まで発展していきました。
終わったのは、予定の15時半近かったです。

この日の出勤者は、
田辺・岡野・古峰さんと横谷でした。他に見積工場さんが応援してくれました。

説明・相談会の参加者は6名でした。いずれの方もまだシステムを設置していないが、今後考えたいと思っている様子でした。

参加者は、もう少しいるのではと考えていましたが、思った以上に少人数で、がっかりしました。

今後の説明・相談会の日程を早めに決めて、参加の呼びかけをしなければと思います。

横谷 記